

市埋蔵文化財センターの事業の一つに「体験学習」というものがあるのをご存知でしょうか。

当センターの体験学習には、勾玉つくり・土器づくり・古銭づくり・お干菓子づくりなど、子どもから大人まで二戸市の歴史を感じながら楽しんで参加できるメニューがいろいろあります。その中の一つに甲冑工房「政實塾」があり、平成19年7月7日、9人の一期生を迎え開講しました。

二戸市には国指定史跡「九戸城跡」があります。しかし、九戸政實の時代の遺物は少なく、当時の甲冑も今のところ見つかってはおりません。そこで、私たちは自分たちの手で甲冑を作るこ

## 甲冑工房「政實塾」

市埋蔵文化財センター

☎ 23-6020

37

## ドキドキ たいむとらべらー



紙とは思えない重厚感です

とはできないだろうかと考えました。ところが、どうやって作るのか、どんな材料や道具が必要なのかまったく見当が付きません。いろいろと探して、ようやくたどり着いたのが、宮城県白石市「甲冑工房片倉塾」です。歴史好きな人ならおわかりでしょう、伊達政宗の家臣・片倉小十郎の居住していた白石城があるところです。

こうして、私たちは片倉塾の指導を得て、紙を使用した甲冑作りを開始しました。

厚紙とダンボールを張り合わせ形を作り、塗料を20回塗り重ね、平紐で威嚇していきます。この工程は簡単ではありませんが、出来上がったときの達成感は一言では言い尽くせません。

そして、この甲冑の一番の特長は、飾っておくだけではなく実際に「着ることができる」ことです。

今年度も、7月から甲冑工房「政實塾」を開校します。まだ見たことが無い、ちょっと興味があるなど思われた人、埋蔵文化財センターに一度見学に来てみませんか。

## こみゅにTeaたいむ

47 杯目

### あいさつ運動に取り組みましょう

住みよい二戸市をつくる市民運動推進協議会（久慈浩会長）ではあいさつ運動を推進しています。最近テレビコマーシャルで「魔法の言葉で楽しい仲間がポポポーン。あいさつするたび友だち増えるね」と流れています。

あいさつは、「コミュニケーションを円滑に進めるための第1声」とも言われています。あいさつの輪を広げ、顔と顔が見える関係を築くことは皆さんが気持ちよく、安心して、暮らせて、犯罪にも災害にも強いコミュニティの形成にもつながるのではないのでしょうか。

東日本大震災の影響で暗いムードになりがちですが、町内会、自治会、常会でもあいさつ運動に取り組み、「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」、子どもたちには、「行ってらっしゃい」、「お帰りなさい」。皆さんの一声で「ポポポーン」



あいさつからさわやかな1日が始まります

と地域社会も明るくしましょう。

### 【被災地で出前講座】

シビックセンター3階にある田中館愛橘記念科学館では東日本大震災被災地の子どもたちを元気づけようと4月21日に野田村の児童クラブにおいて出前講座を行ないました。

当日は避難所にいる子どもたち30人が参加し、「光るスライム」「ロケット風船」を作りました。

子どもたちは大いに盛り上がり、出来上がった作品に大満足。次回開催のリクエストも頂きました。

今後も田野畑村などに出向き出前講座を行なう予定です。



光るスライムできました

シビックセンター内には、田中館愛橘記念科学館と福田繁雄デザイン館があります。科学館ではだいすけ先生のサイエンスショーや被災地で行なったスライム作りや万華鏡づくりの体験ができます。

デザイン館では「福田繁雄デザイン展」を4月9日～9月25日まで開催します。ゴールデンウィーク中も休まず（5/2と5/6は休み）開館しておりますので、子どもたちと一緒に科学の不思議な世界やアートの世界に触れてみませんか。

この欄の問い合わせは、市地域振興課（内線 383）まで